

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		意見、苦情箱の設置	苦情内容をよく吟味し、入居者様、家族様に安心していただく。	・経営者、施設長、職員との話し合いを行う。 ・早急に設置する。	1か月
2		研修について(所外)	介護技術、介護精神の向上に伴う人材育成及び入居者様の日常生活への貢献、安全、安心の介護スキルを身に付ける。	・新人の研修への積極的な参加に努める。 ・研修内容に応じた参加者の人選、配慮を行う。 ・介護従事者全員に適正な研修参加を促し、配慮する。 ・資格等取得のための研修参加に助成する。	1か月
3		入居者様と職員間の食餌について	入居者様とのコミュニケーションを図る。	・毎食時に入居者様と同席で食事をとる。 ・食事時の表情、嗜好及び体調変化の早期発見に努める(見守りの充実)	1か月
4		第1の玄関ガラスについて	・出入口をわかりやすくする。 ・開放的で明るい玄関に改善する。	・フィルムの一部除去を実施する。 ・出入口の表示を目立つ物に変更する。 ・玄関の装いを明るくする。	1～12か月
5		ケアプランの開示	簡略的で、家族様や職員が理解しやすいケアプランを目指す。	・家族の面会時等、随時開示し、ケア内容の理解や要望の積極的な取り入れに努める。 ・ケアプランを通じ、入居者様、家族様、施設の信頼関係を構築する。	1～12か月
6		施設内研修について	入居者様個々に適した介護の在り方を考案する。	・各ユニットのカンファレンスにおいて、職員個々の介護技術をディスカッションし、全体の向上に努める。 ・所外研修の知識、技術の発表を通じて、意見交換を行い、介護技術、精神の向上に努める。 ・他施設の見学等も取り入れる。	1か月
7		全てのマニュアル作成	安全、安心な施設生活を目指す。	・最新の知識習得のための最新書籍を購入する。 ・感染症の知識習得、対応策、技術の習得をする。 ・地域及び関係医療機関の感染情報を収集する。 ・災害時等の対応策、避難方法を確立する。	1か月
8		避難訓練について	安全な生活を送れるようにする。	・日中、夜間の避難訓練の実施(年2回程度) ・災害に応じた避難場所の周知徹底。 ・地域住民等との協力体制を確立する。	1か月
9	4	運営推進会議の設置	開けた施設運営を図る。	・施設内での生活が誰にでも理解されやすいよう、情報交換を行う。 ・地域に根差した施設を確立するように、運営推進会議の意見を取り入れた介護施設を目指す。	6か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。